

# 二中の木

学校報  
第18号  
H28/03/18



能代市立  
能代第二中学校  
TEL52-5138

## 前生徒会長の思いは

### 届きましたか？

〜最終号〜



### 三浦大威喜さんの答辞

平成28年3月12日、第69回能代第二中学校卒業証書授与式が行われました。肌寒さを残しながらも瑞の光にあふれた体育館で、厳かに温かく式は進行していきました。

前生徒会長 三浦大威喜さんの二中への熱い思い、残る後輩への優しさが後から後から湧き出る泉のように、言葉となって体育館に、そして皆さんの心に響いていたと思います。



## 卒業式

### 大威喜さんのメッセージとは？

自分の思いが後輩に届いて欲しいという必死の、精一杯の表情で大威喜さんはステージ上に立っていました。能代二中での思い出を一つ一つ丁寧に呼び覚ましながら、自らの三年間を静かに振り返っているように見えました。答辞の中で大威喜さんのつくった俳句が紹介されていたのを覚えていますが、いつか全校集会で私も紹介したことがあります。



あこがれを  
残したままで  
夏が行く

大威喜

「悔しさ」ではなく、「あこがれ」を残すあたりが大威喜さんの人柄を感じてしまいます。それはともかくとして、この俳句から皆さんは何を感じ取ったのでしょうか。



野球が大好きでたまらないと言った気持ちや野球を仲間と続けられなかった残念さを感じ取った人もいたでしょう。



私が感じ取ったのは、

三年生にとって与えられた時間はごくわずか。わき目を動かさずとも、余裕はない。

というメッセージです。夏の大会までの限られた時間を新三年生はどのように過ごそうとしているのでしょうか。技術的なことなら指導者や友達の協力で乗り越えられるかもしれません。しかし、チームワークややる気は自分達にしか乗り越えることができない課題です。今すぐ解決するのかしないのか、答えを迫られているというメッセージです。

「自主・不屈・友愛」を大切に、新しいものに挑戦してください。いつも変わっていく二中こそが二中らしいと私は思います。

大威喜

我が二中は伝統校です。校訓の魂を大切に引き継いできたという意味での伝統校です。しかし、それは常に新しい自分、研かれた自分を求めてきた結果の伝統校です。大切に受けとめてもらいたいメッセージでした。

本日をもって平成27年度の授業日を閉じます。春休みは、新しい平成28年度の始まりを深い、美しいものにするための大切な手続きです。頑張りを持っていきます。さて、今年度最後の「二中の木」となりました。お読みいただきありがとうございました。



【完】